

くろい ぶぶんは なんかい目に かくでしよう。 □に すうじを かきしよう。

右

かい目

左

かい目

子

かい目

入

かい目

出

かい目

九

かい目

田

かい目

金

かい目

糸

かい目

耳

かい目

おうちのかたへ

一年生で習う漢字のなかでも、書き順や画数を間違えて覚えがちなものを出題しました。「子」は3画で書く、「右」の1画目は「ノ」など、きちんと覚えるようにしましょう。

おうちのかたへ

書き順を覚えることは、漢字を早く正しく書くうえで重要な要素です。バランスのとれた字が書けるようになることは、子どもにとっても財産となります。今のうちにしっかりと身につけるようにしましょう。

足



かい目

雨



かい目

車



かい目

女



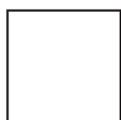
かい目

赤



かい目

生



かい目

手



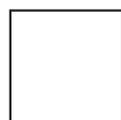
かい目

力



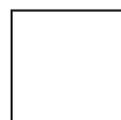
かい目

小



かい目

名



かい目

くろい ぶぶんは なんかい目に かくでしよう。 □に すうじを かきしよう。

小学館 毎朝プリント

こくご

なまえ

かきじゅん ②

がっ 月 にち 日

KG-072

よみがなに あうように、一年生で ならう かん字で できている ことばを かきましよう。

①

にっ ぽん

には 山が おおい。

②

よん ほん

の えんぴつ。

③

せん えん

の 本。

④

あお ぞら

が ひろがっている。

⑤

正しい

も じ

を かく。

⑥

ほん き

で はしる。

⑦

さ よう

を 見る。

おうちのかたへ

ここからKG-076まで、一年生で習う漢字を使った熟語の問題です。単に漢字を書く練習ではなく、実際にどのようなときにその言葉を使うかを、文例とともに覚えるようにしてください。

よみがなにならう、一年生でならう かん字でできている ことばをかきましよう。

① だん し

が あつまる。

② おう じ

さま。

③ とお か

たつと、えん足だ。

④ しょう がつ

お。

⑤ すい しゃ

が まわっている。

⑥ けん がく

する。

⑦ おお あめ

で、えん足は 中しになつた。

おうちのかたへ

「十日」の読みがなは「とうか」ではなく、「とおか」と書くことも教えてあげてください。それぞれ

よみがなにならう、一年生でならう かん字でできている ことばをかきましよう。

① がっ こう

にいく。

② せんこう はなび

をかってもらった。

③ ちゅうがく せい

のおにいさん。

④ みぎ みみ

がいたい。

⑤ だん じょ

にわかれてならぶ。

⑥ あきには おつきみ

をする。

⑦ せん せい

にあいさつをする。

おうちのかたへ

一度習った漢字を確実に習得するために、「学校」「中学生」「先生」など、関連した漢字や熟語を集中的に復習するのも一つの方法です。ほかに「手」「足」「目」「耳」など、実際の体の部分と関連づけながら書くのもよいでしょう。

よみがなにあうように、一年生でならうかん字でできていることばをかきましよう。

①

		しち
		ご
		さん

できものをきた。

②

ラッコは、どうぶつえんの

		にん
		き

ものだ。

③

はげしい

		ゆう
		だち

がふった。

④

うんどうじょうの

		こ
		いし

をひろう。

⑤

山の上は、

		くう
		き

がきれいだ。

⑥

		すい
		でん

に、おこめがたくさんみをつた。

⑦

お

		とし
		だま

をもらった。

おうちのかたへ

「タ立」「水田」などは、一年生には少し難しい言葉ですが、早い段階から多くの言葉に触れることで語い力がつきます。意味も覚えるようにしながら練習しましょう。

—のぶぶんを、かん字に おくりがなを つけて () に かきましよう。

① おおきな山が みえた。()

② はやい じかんに かけた。()

③ あおい ハンカチを もらった。()

④ たたしい こたえを かく。()

⑤ おとうとは、まだ ちいさい。()

⑥ ころんだが、すぐに たち あがった。()

⑦ あかい 花が さいている。()

おうちのかたへ

ひらがなを、漢字の訓読みと送りがなに直す問題です。間違えやすいのは「小さい」を「小さい」としたり、「青い」を「青い」とするなどです。送りがなもきちんと覚えるようにしましょう。

—のぶぶんを、かん字に おくりがなを つけて () () に かきましよう。

①
おゆを 入れる。()
おゆに はいる。()

②
あかちゃんか うまれる。()
草や 木も いきている。()

③
はしごを のぼる。()
かいだんで、二かいに あがる。()

④
山を おりる。()
せいせきが さがる。()

おうちのかたへ

「入る(はいる)」「入れる(いれる)」「上がる(あがる)」「上る(のぼる)」などは、読み方によって送りながが変わります。ここでは一年生で習う漢字の中でも特に間違いやすいものを集めました。繰り返し練習しましょう。

—の ひらがなを かん字に して、文を 書きなおしましょう。

① かがついつかは、こどものひです。

Blank box for handwriting practice.

② あさはよいでんきだったのに、ゆうがたから、おおあめになった。

Blank box for handwriting practice.

③ だんしはしろぐみ、じよしはあかぐみにわかれて、たまいいれをした。

Blank box for handwriting practice.

おうちのかたへ

KG-079とKG-080は、一年生の漢字を使った文を書くプリントです。これまでに練習した漢字が覚えられているかどうか、ためしてみましよう。

—の ひらがなを かん字に して、文を 書きなおしましょう。

① ひやくえん だまを よん まい もって まち に いき、 えんぴつを
さんぼん かった。

Blank box for writing the first sentence.

② らいねん は、しょうがくに ねんせい になる。

Blank box for writing the second sentence.

③ はやおきして、はなが たくさん さく やまに、いぬ を つれて でかけた。

Blank box for writing the third sentence.

おうちのかたへ

KG-077からKG-080のプリントがすらすらできるようなら、一年生の漢字はほぼマスターできているといえます。できない問題が多いようなら、それぞれの漢字をもう一度復習しましょう。